

トランスフォーマティブ生命分子研究所ポスドク研究員の募集について

名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 Kay-廣田グループでは、下記のとおりポスドク研究員を募集します。

記

1. 募集者の名称：国立大学法人東海国立大学機構
2. 職 名：研究員
3. 募集人員：1名
4. 勤務場所：【雇入れ直後】名古屋大学東山地区（名古屋市千種区不老町）
【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する就業場所
5. 職務内容：【雇入れ直後】名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所（ITbM）の Kay-廣田グループは、睡眠・覚醒など多様な生理機能に見られる一日周期のリズムを支配する概日時計をターゲットとして、その機能に影響を与える全く新しい分子を発見し、メカニズムの理解と時計関連疾患の治療を目指す研究を行っています
(https://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/ja/kay-hirota_group/)。今回募集するポスドク研究員の方には、概日時計を調節する化合物が生理機能に与える影響をマウス個体および分子レベルで解明し、疾患治療に応用する研究を担当して頂く予定です。
【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する業務
6. 応募条件：博士号を取得していること（着任までに取得見込みも可）。動物生理学や薬理学に幅広い知識と経験を持ち、それを示す筆頭著者としての論文を有すること。マウスを用いた代謝研究に精通している方を優先いたします。ITbMは化学、生物学、計算化学を専門とする日本人および外国人の研究者が実験室・居室を共有し、非常にユニークでエキサイティングな研究環境です。熱意と責任感があり、外国人研究者との英語でのコミュニケーションにも意欲がある方を歓迎いたします。
7. 勤務条件 雇用期間：2025年4月1日（応相談）～2026年3月31日
勤務評価により、年度毎に更新の可能性あり。
※業務処理、判断・対応、責任感、勤務態度、協調性、法令規程等の遵守及び法人の予算、業務量等により判断
・状況に応じて2028年3月31日まで更新の可能性あり
・最終雇用年齢は65歳に達した年の3月31日まで
・試用期間有り（採用日から6か月）
給 与 等：年俸制
(年俸額420万円、月額35万円。ただし、年俸額には、
期末・勤勉手当（賞与）、退職手当等を含みます。)
加入保険：文部科学省共済組合（短期／健康保険、長期／厚生年金）、雇用保険、
労災保険。その他条件は名古屋大学規程によります。
勤務時間：1日7時間45分働いたものとみなす（専門業務型裁量労働制）
休 日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12/29-1/3)
受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止

8. 応募方法：以下の書類をまとめてひとつの pdf ファイルにし、下記提出先に e-mail で送付してください。

- ・履歴書（様式自由。e-mail アドレスを記入。顔写真を貼付。）
- ・業績リスト
- ・これまでの研究内容と今後の研究の抱負
- ・現所属の責任者を含む 2 名の連絡先
- ・類型該当性の自己申告書（様式は下記からダウンロードしてください。）

<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/Swfp7NdH7PGitf4>

※様式 1「類似該当性の自己申告書」の提出について

2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。

9. 選考方法：書類審査を通過した応募者に対して面接を実施し、採否を決定します。

10. 応募期限：2025 年 1 月 31 日（金）必着。但し、応募期限前でも応募書類は適宜選考し、採用者を決定次第、締め切ります。

11. 提出先・問合せ先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所
廣田 毅
thirot@itbm.nagoya-u.ac.jp

12. その他：面接は対面で行いますが、対面実施が困難な場合のみオンラインで実施します。面接のための交通費は自己負担とします。

応募書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

提出いただいた書類は本選考以外の目的には使用しません。